

投資家向けヒアリング項目

- (1) 国際的イニシアティブ（CDP、SBT、RE100）に対する企業の取組について

国際的なイニシアティブである SBT、RE100 等は国や企業の業態等により取り組みやすさが異なると思うが、どのように評価しているのか。

- (2) GHG プロトコル スコープ 2 ガイダンスについて

- ① スコープ 2 ガイダンスの内容（算定方法等）について認識しているか。スコープ 2 ガイダンスの内容で不明瞭な点はあるか。
- ② スコープ 2 ガイダンスと温対法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の算定方法の違いを認識しているか。
- ③ ロケーション基準手法及びマーケット基準手法による GHG 排出量の評価に差異はあるか。

- (3) GHG プロトコル スコープ 2 ガイダンスに対応した電気の GHG 排出量の算定について

企業が開示する GHG 排出量の正確性をどのように確認しているのか。

例：準拠している基準の確認、第 3 者機関による確認の有無、等

- (4) 再生可能エネルギー（電気）の調達と価値の主張について

企業の再エネ電気の調達及び再エネ証書の活用方法について、どのように評価しているのか。また、企業の再エネ調達方針について、投資家が評価するにあたっての優先順位はあるか。

（例）既存設備からの調達ではなく、世の中に追加的に導入された再エネの調達を重視 等

- (5) 需要家向けガイダンスへの要望について

需要家向けガイダンスの内容について、記載が必要な事項や整理すべき点等はあるか。